

急激な社会変化に対応して生涯を通じて社会で活躍するためには、就職するまでに身につけた知識だけではなく継続的な学習を必要とします。こうした社会状況を受け、近年、生涯学習の場として大学が注目されており、地域の知の拠点としての役割に加えて市民に開かれた学びの場としての役割が定着しつつあります。こうした大学における学び直しを通して知識を身につけた人々は、地域や社会が抱えている課題を解決に導く担い手としてのみならず、ひいては地域再生や地域創生の人材として活躍しています。

一方、人生100年時代と言われているなか、東アジアの国においても少子高齢化が進んでおり、人生を豊かに生きるために学び続けることの重要性が強調されています。各国の政策の中ではその受け皿として大学の役割が求められており、学校教育を終えた成人学習者への学習支援の充実化が進んでいます。例えば、大学における社会人受け入れの拡大を進めるために、中国では社会人向けの入試制度の改革、韓国では主に社会人を対象にした教育コースの導入（既に就業している者や遅れて進学した者への教育支援）、台湾では社会人を対象に学位課程と非学位課程を編成した国立空中大学と社区大学などの取り組みが進んでいます。

このシンポジウムにおいては、東アジアの諸大学から講師を招き、大変革の時代のなかでの大学における社会人受け入れの政策的取り組みと現状についてご報告いただき、国際的視点からその可能性について議論します。

多くの方々のご来場をお待ちしております。

<p>とき 2019年2月22日(金)</p> <p>ところ 岩手大学 復興祈念銀河ホール 【理工学部キャンパス内】</p>	<p>定員 先着100名 申込みは2月15日まで</p> <p>対象 大学関係者、生涯学習関係者 一般市民 など</p>
--	--

社会人学び直しシンポジウム

東アジアの大学 における社会人学び直し

プログラム	受付：12:30～	言語	日本語（逐次通訳あり）	参加無料	要申込
13:30～13:40	開 会 挨拶			岩手大学長 岩淵 明	
13:40～14:20	基 調 講 演	人生100年時代における社会人の学び直し			
		文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課 教育企画調整官 伊藤 明子			
14:20～14:50	講 演 1	中国高等教育における社会人受け入れの政策の動向—現職中小学校教員の再教育を事例に—			
		(休憩10分) 中国・南京師範大学 教授 胡 建華			
15:00～15:30	講 演 2	韓国大学における社会人が学ぶための環境整備の取り組みについて—社会人入学を中心に—			
		韓国・高麗大学 研究教授 張 智恩			
15:30～16:00	講 演 3	台湾高等教育における社会人受け入れの政策の動向—地方国立大学の取り組みについて—			
		台湾・国立台東大学 教授 梁 忠銘			
16:00～16:30	講 演 4	岩手大学における社会人学び直しプログラムへの取り組み			
		(休憩10分) 岩手大学 教授 佐藤 和憲			
16:40～17:20	パネルディスカッション	社会人に魅力ある大学づくりとは？			
		コーディネーター：岩手大学三陸復興・地域創生推進機構生涯学習部門長 朴 賢淑			
17:20～17:30	閉 会 挨拶	岩手大学三陸復興・地域創生推進機構副機構長 八代 仁			
18:00～	懇 親 会	(会費：3000円)			



文部科学省総合教育政策局
生涯学習推進課
教育企画調整官 **伊藤 明子**

2001年文部科学省入省。入省後、青少年教育や国際交流等の業務を経験し、2013年同省大臣官房総務課専門官(命)文書情報管理室室長補佐、2014～2015年厚生労働省雇用均等・児童家庭局少子化総合対策室室長補佐、2016年文部科学省生涯学習政策局政策課課長補佐、2018年1月同省生涯学習政策局社会教育官を経て、2018年10月より現職。



中国・南京師範大学
教授 **胡 建華**

名古屋大学大学院教育学研究科にて博士課程修了(教育学)。中国南京師範大学教育科学学院院长、名古屋大学大学院教育発達研究科客員教授、名古屋大学高等教育研究センター客員教授、東北大学大学院教育学研究科客員教授を歴任。著書として、『戦後日本大学史』、『大学制度改革論』、『比較視野の下での高等教育研究』、『高等教育学』など。専門は高等教育および比較教育。



韓国・高麗大学
研究教授 **張 智恩**

東京大学大学院教育学研究科にて修士、博士課程修了(教育学)。韓国高麗大学教育問題研究所研究教授。韓国平生教育学会理事、韓国老年社会学会理事。研究報告書として、『成人学習需要吸収のための非学位課程の活性化法案』、『大学生涯教育の現況と課題: 知の共有と拡散のための大学開放』など。著書として、『韓国の教育問題: 分析と解決法案』、『日本の地域教育力: 理解と実際』など。専門は社会教育。



台湾・国立台東大学
教授 **梁 忠銘**

東北大学大学院教育学研究科にて博士課程修了(教育学)。台湾国立台東大学師範学院院长、台東大学副校長、東北大学大学院教育学研究科客員教授などを歴任。中華民国比較教育学会監事、台湾教育社会学会監事、台湾教育評論学会理事。『日本少子高齢化による地方創生型課程進行と台湾東部実験教育課程の比較研究』、『台湾地方教育と中国農村教育の政策比較研究』などのプロジェクト研究に参与。専門は高等教育および社会教育。



岩手大学
教授 **佐藤 和憲**

1977年千葉大学園芸学部卒業後農林省に入省。農業技術研究所、農業研究センターなどに勤務。2001年国立農業試験研究機関の独立行政法人化に伴い(独)農研機構・中央農業総合研究センター総合研究第4チーム長に就任、2006年マーケティング研究チーム長、2011年食農連携プロジェクトリーダーを歴任。2012年より岩手大学農学部教授。専門は青果物流通・マーケティング、特に産地の販売戦略や組織体制をテーマとしている。



アクセス

- 〒020-8551 岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
- JR盛岡駅からバス 約15分(バスターミナル11番のりば)
駅上田線の「松園ターミナル」行き「上田四丁目(NHK前)」下車、
または、駅桜台団地線の「桜台団地」行き「理工学部東口」下車。徒歩2分
- JR盛岡駅からタクシー 約10分

※岩手大学理工学部正門または理工学部東門からお入りください。
※公共交通機関またはタクシーをご利用ください。

申込み方法

参加ご希望の方は、**E-mail** または **FAX** で事前にお申込み下さい。
※当日参加も可能ですが、定員を超えた場合は予約優先と致します。

氏 名		所 属	住 所
ふりがな			
職 名		連 絡 先	
		TEL	
		FAX	
		E-mail	
懇 親 会	<input type="checkbox"/> 参 加 <input type="checkbox"/> 不 参 加		

個人情報は当シンポジウムの運営管理の目的のみに利用致します。

申込み先

岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構 生涯学習部門
TEL 019-621-6492 FAX 019-621-6493
E-mail renkei@iwate-u.ac.jp

